

ここにもあった！

## 小便小僧



© WBT - J. P. Remy

皆さんはブリュッセルの観光名所、小便小僧 (manneken pis) をすでにご覧になったことでしょうか。行って見たら、あまりにもかわいらしい子どもの像で、ビックリされませんでしたか？「えっ、こんなに小さいの？」という叫び声を小僧の前でもよく耳にします。身長55.5cmの小さい像ですが、彼はブリュッセルのために偉大な活躍をしたのです。

小便小僧の由来は、下記のように諸説あります。

- \* 2歳時すでに戦場の兵士を鼓舞していたブラバント公ゴドフロワ2世が、敵軍に向かって小便をし、勝利に導いた説。
- \* 反政府軍がブラッセルを爆破しようとしたとき、幼いジュリアン君が導火線に小便をかけて、街を救ったという勇武説。
- \* 金持ちのブルジョワ・ブリュッセル住人の子どもが行方不明になったが、お父さんに見つけられたときうれしさの余り小便をしてしまった説。
- \* 慎み深い教会を冒涇しようとした父の償いのため、小便をしたり、大きくなったりできなくなった子ども説。
- \* 家に小便をし続けていた少年を凍結しようとした魔女に対し、聖職者が少年の代わりに像を作ったという説。

よく耳に聞く説は、ブリュッセルを救ったジュリアン君の説のようです。

ブリュッセル街中の像はコピーで、1619～1620にブリュッセルの彫刻家ジェローム・デュケノワ氏により作られた本物は、ブリュッセル市庁舎の向かいにある王の家と呼ばれるブリュッセル市立博物館に保存されています。この博物館には、小便小僧の衣装も保存されていて、見学することができます。18世紀にフランスの兵士がジュリアンと呼ばれるこの像を盗み、ルイ15世がそれを知って、像を返すときにお詫びのしるしに衣装をプレゼントしたのが始まりで、博物館1Fに世界各国から贈られた衣装が展示されています。ジュリアン君が衣装を着る日程は、像の左横に表示されています。9月17日には、ベルギー・日本友好150周年を記念して、ジュリアン君が着物を着てFolklorissimo (フォークリシモ) に参加しました。

この小便小僧のコピーが日本にもあるといううわさを聞いて、日本で生活する元ベルギー滞在者に取材に行ってもらいました。

ハッセルト市と姉妹都市の兵庫県伊丹市にある荒牧バラ公園内の小便小僧です。南欧風の公園に250種1万本のバラが植えられています。開花は5月～6月と10月～11月の2回。公園北側の端のほうにこの小便小僧あるので、見落としがちですが、探してみてください。

荒牧バラ公園：

<http://hccweb1.bai.ne.jp/midoriplaza>

〒664-0001 伊丹市荒牧6-5-50

開園時間：9h～17h、火休園

入場無料

そして、もうひとつは、東京JR浜松町駅3・4番線ホームの田町寄りにあります。こちらの小便小僧は、1952年鉄道開通80周年の記念になるものとして、当時の駅長が友人に相談したところ、白い陶器製の小便小僧を寄贈されたことに始まります。その後、1955年プラットホームの改修工事時にこの友人から再度ブロンズ像の小便小僧を寄贈され現在に至っています。当初は裸体のままでしたが、ある女の子が寒い日に毛糸の帽子をかぶせたのがきっかけで、衣装を作成する女性が現れ、30年余りのうちに200着以上の衣装を作成してもらいました。しかし、この女性の死後、再び裸体となりましたが、消防署から防災PR用に小便小僧の衣装作成依頼を受けたグループ「あじさい」が、作成を手がけ、現在毎月衣替えをしています。すでにご存知の方もいらっしゃるでしょう。

そのほか、スペイン、フランス、アメリカ、エクアドール、コンゴ民主共和国などにもコピー版があるようです。

ブリュッセルには、小便小僧のほか以下の像もあります。あわせ見学に行くと小便シリーズ写真を作るのも面白いベルギー滞在記念になりますね。

小便少女 (Jeanneke-Pis、写真下左)

l'Impasse de la Fidélité 10-12, 1000 Brussels

(ビール・カフェDéliirium caféの向かい)

小便犬 (Het ZinnekeまたはZinneke-Pis、写真下右)

Rue des ChartreuxとRue du Vieux-Marché-aux-Grainsの交差点

